

() は
保存温度

病理学検査

	項目コード	項目名	採取容器	必用量	検査方法	基準値	区分 実施料	報告 日数	備考	外注先
病理・組織検査	1627 4H010	エストロゲン・レセプター ER 4H0100000070666		パラフィンブロック・未染 標本スライド	免疫組織化学(IHC法)		病理 720	3~5 * 1		1
	1389 4H015	プロゲステロン・レセプター PgR 4H0150000070666		パラフィンブロック・未染 標本スライド	免疫組織化学(IHC法)		病理 690	3~5 * 1		1
	2404	エストロゲンレセプター/プロゲ ステロンレセプター ER/PgR		パラフィンブロック・未染 標本スライド	免疫組織化学(IHC法)		病理 900	3~5 * 1		1
	2405 5D590	乳癌HER2/neu IHC法 5D5900000070666		パラフィンブロック・未染 標本スライド	免疫組織化学(IHC法)		病理 690	3~5 * 2		1
	2219 5D590	胃癌HER2 IHC法 5D5900000099666		パラフィンブロック・未染 標本スライド	免疫組織化学(IHC法)		病理 690	3~5 * 2		1
	2548 5D597	肺癌PD-L1タンパク/22C3 IHC法 5D5970000070666		パラフィンブロック・未染 標本スライド	免疫組織化学(IHC法)		病理 2700	3~5 * 3		1

注) 弊社にて診断を行っている場合は、依頼書のみ提出ください(材料の提出は不要)

切り出しや再固定、脱脂、脱灰等を必要とする場合、さらに所要日数を要することがありますので、ご了承ください

* 1 ER免疫染色とPgR免疫染色 同一月に実施した場合、主たる項目の所定点数に180点を加算する。

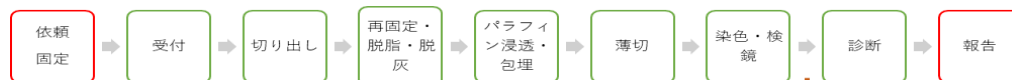
* 2 HER2タンパク 半定量検査又はEIA法(酵素免疫測定法)による病理標本作製を行った場合に限り算定する。なお、HER2遺伝子標本作製を同一の目的で実施した場合は3050点を算定する。

* 3 PD-L1タンパク免疫染色(免疫抗体法) 抗PD-1抗体抗悪性腫瘍剤又は抗PD-L1抗体抗悪性腫瘍剤の投与の適応を判断することを目的として、免疫染色(免疫抗体法)病理組織標本作製を行った場合に、当該抗悪性腫瘍剤の投与方針の決定までの間に1回を限度として算定する。

●病理検査の流れ

●病理検査報告日数

月	火		水		木		金		土	月	火		水		木		金		月
	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM		AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM
提出	受付	切出し	薄切	診断	→	→	→	結果出力	結果報告										
	提出	受付	切出し	薄切	診断	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
		提出	受付	切出し	薄切	診断	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
			提出	受付	切出し	薄切	診断	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
				提出	受付	切出し	薄切	診断	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
					提出	受付	切出し	薄切	診断	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→



特殊染色*・免疫染色



容器NO40
ホルマリン容器